

●●●●●●●●●●「健康セミナーを実施して」●●●●●●●●●●

大分県消防補償等組合

1 はじめに

大分県は瀬戸内海と豊後水道に面した九州東岸に位置し、気候は温暖で、自然は山や海、森や草原、溪谷など多彩であり、温泉は源泉数、湧出量ともに全国一を誇っております。特に別府温泉や、湯布院温泉は皆さんもご存じのことと存じますが、その他にも県内各地に温泉が点在しており泉源の種類も豊富です。

また、「海の幸」「山の幸」に恵まれており、農産物では椎茸やカボス、豊後牛や麦焼酎などが、海産物では城下かれい、関アジ関サバ、車えび、ふぐなどの高級魚が有名です。皆さんぜひお越し下さい。

2 当組合の設立と事業概要

当組合は昭和27年12月に設立され、その後、昭和・平成の大合併による市町村の減少に伴い、現在10市町村（県内全体で18市町村）、消防団員数8,863名（条例定数）で構成されています。県内の消防団員の数は、半世紀にわたり減少の一途をたどっていましたが、昨年度は調査後初めての増加に転じております。これには昼間の消防力強化を目的にした「機能別消防団員」制度の導入によって消防団OBなどを採用した結果が一因にあります。

当組合の事業は、非常勤消防団員に係る災害補償や退職報償金及び賞じゅつ金の支給並びに

消防団員公務災害防止研修として、S-KYT（消防団危険予知訓練）研修や健康セミナー等を実施することです。

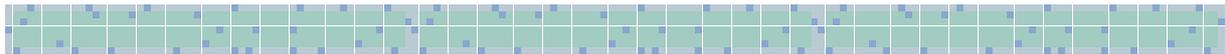
今回は、消防基金と共催で平成20年度に開催しました健康セミナーについてご紹介させていただきます。

3 健康セミナーの開催に至った経緯

当組合では毎年10数件の公務災害が発生している状況にあります。幸いにも死亡事故は近年発生しておりませんが、全国では毎年10名ほどの尊い命が失われている状況にあり、当組合としても、消防団員の公務災害の未然防止に向けた取り組みとして、平成17年度から「S-KYT研修」を実施しております。

当初の目標として、「S-KYT研修」を計画的に実施し各構成団体に体験していただくことにより、公務災害防止研修の重要性を認識していただくことができました。「S-KYT研修」は参加者からの評判も良く、構成団体の積極的な協力により平成20年度で各団体を一巡し、約650名の団員の参加をいただきました。

また、毎年度「S-KYT研修」を実施する中で、消防団員の日常の運動不足や生活習慣が原因と思われるメタボリックシンドロームなどの健康上の問題を抱えている団員もいることがわかりました。



講演風景①

さらに消防基金のデータからも消防団員の公務による死亡者のうち虚血性心疾患や脳血管疾患が高い比率を占めており、その一因に高血圧や高脂血症などいわゆる生活習慣病やメタボリックシンドロームの問題が指摘されています。

そこで、これら疾患の公務災害防止を図るため、健康管理知識の習得を目的として「健康セ

ミナー」を実施いたしました。

4 健康セミナーを実施して

平成20年12月6日に日本赤十字社大分県支部の伊東講師のもと、構成団体の幹部約30名が参加して健康セミナーを開催いたしました。

「健康セミナー」では、メタボリックシンドロームや生活習慣病の予防についての講演が行なわれました。生活習慣病の予防のための食習慣や運動方法、メタボリックシンドロームと診断された後の内臓脂肪を減らすための対策など、内容も分かりやすく要点毎にクイズや質問を交えながらの90分間のセミナーです。

メタボ健診が始まった時期に開催したこともあり参加者の関心も高く、講義の中で、生活習慣病が死亡原因の5割を超えている現状が示されたため、予防方法や改善方法についていろいろな質問が寄せられました。また、「普段の生活習慣を見直すよい啓発となった。」、「食習慣



講演風景②



熱心に耳を傾ける受講者

を改めなければいけない。」「メタボと診断されたので、団活動に支障のないよう体重を減らしたい。」「消防活動は健康が前提であるので、他の団員にも内容を伝えたい。」など、健康維持やメタボ対策の方法について参考になったとの意見が参加者から数多く寄せられていました。

5 今後の取り組み

「健康セミナー」は今回初めての実施でしたが、団員にとっては身近な問題であり、たいへん有意義な研修となりました。構成団体からは「S-KYT研修」と同じように各地域で実施した

いとの問い合わせもあり、これからも定期的の実施することを検討しております。

公務災害防止研修事業を継続して実施することにより、日頃から多くの団員が公務災害防止について意識することが重要と考えております。

消防団員一人ひとは消防団にとって貴重な人材であり、家族にとっても地域においてもかけがえのない存在です。

当組合としては、今後も地域に密着して地域防災に寄与されている団員の健康を維持し、公務災害防止に繋げられるよう消防基金と連携して各種研修を実施したいと考えております。